

“道徳授業「ルールとマナー」の感想(3組)”

東京都千代田区の役所が地域の環境をより良くしようと住民と共に取り組んだ出来事が描かれている。役所は最初、住民の中にあるマナーを大切にしようとする心を向上させようと取り組んだ。しかし、改善につながらなかった。そこで、全国で初めての「生活環境条例」を定め、ルールを厳しくした。結果、地域は目に見えて改善していったが、一方でルールをかいぐるようにして違反するものは後を絶たなかった。

授業の感想

『ルールばかりの世界だと苦しくなり、マナーばかりの世界でもゆるくなってしまう、マナーを破る人が増えてきてしまうと思います。なので、「マナー少し多め、ルールも少しある世界」が一番この世界をより良くするために良いと思います。』

『この話を読んで、見て見ぬふりをしないということが大切だと改めてわかりました。私もたまに周りの人がしゃべっていたりしているとつられてしゃべったり、男子がケンカしている時に一緒にしゃべったり、ただ見ているだけということがありました。一年生の時の学級目標に「見て見ぬふりをしない」ということが入っていました。二年生になって、それができていない時があるので、しっかりしていきたいです。』

『マナーだけで生活することができるのが一番良いことだと思います。ですが、マナーだけでは守ることができずに人が傷ついてしまうことがあるので、適度にルールを作り、守って安心して生活ができるようこれからもしていきたいです。』

『みんなで生活している以上、マナーだけでは駄目だなと感じました。公共の場などでみんながマナーを考えているとは限らないので、ルールを少し設けていった方がいいなと感じました。マナーは自分で考えてできることがたくさんあると思います。みんなが気持ちよく過ごすために、自分でマナーを考えて行動したいです。』

『より良く生活するためには、自分の意識が大切だと思います。他人がやっているからと言って、自分もいだろうという思いになってしまうのは、結局自分の意志だと思います。だから、良い方に自分が踏みとどまれるかが大事なのだと思います。』

よのなかルール 10 <「メシを食べる大人になる！よのなかルールブック」高濱正伸監修>

「自分の時間と同じように他人の時間も大切にする。」

「時間」は平等にあたえられるもの。
使い方しだいで未来を変えることだってできる。
だから自分の時間と同じくらい、
他人の時間も大切にしなければいけないよ。

